

令和2年度大阪府立八尾支援学校 第2回学校運営協議会報告

□日時 令和2年12月4日(金) 午前10時～12時

□場所 大阪府立八尾支援学校 図書室

□出席者 ◆委員6名、校長、准校長、事務局10名 計18名
◆傍聴者2名(本校 PTA)

□次第と協議内容(要約)

○校長あいさつ

○授業見学

①高等部3年「職業・生活実践」(フロンティアコースの生徒による清掃実習など)

○学校運営協議会実施要項改正(協議案件)

*オンライン会議システムに関わることについて追加

○報告

*令和3年度使用教科用図書

ご確認いただく。(実物も数点展示) シラバスに沿って教科書を選定することになっている。

*本年度の学校教育自己診断

10月に保護者・教職員に配付、現在集計中。第3回本協議会でご報告する。

*学校見学会

6月は実施せず、学校ホームページに「学校紹介の動画」を載せる形をとる。

9、10月に(学部別で複数回ずつ)実施。

*2学期授業見学

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、運動会・学習発表会がやむなく中止になる中、その代替案として「八尾フェスティバル」を開催した。日頃の学習の成果を発表する場として、授業見学と位置付けた。そのアンケート結果を見ていただく。「コロナ禍のなか工夫されていた。」など概ね良好な評価と「見られてよかった。他も見たかった」の声も複数いただいた。

○授業見学

②小学部3年「音楽」

③中学部1年「社会」

○<授業の感想等>

感想①: コロナ禍に対して工夫しながら授業されている。ICT を効果的に活用しており子どもたちが集中していると感じた。スロープの清掃も、成果がよくわかり、目標を持ちやすくなっている。作業を請け負って役に立つという体験が大きく、自立に向けた取り組みになっている。

感想②: 子どもたちが頑張っている姿がうれしかった。画像をうまく使った音楽の授業など、多くされ

ているのか。どういう風に使っているのか見せてほしい。また、小学部は身体をしっかり使うことが多いと思うが、教科書を使った授業も見せてほしい。

感想③：コロナ禍で気持ちやモチベーションも下がり気味ではないかと思っていたが、やりがい・達成感を大事にしていると感じた。地域との交流について、障がいの有無に関係なく、役割を持って地域で暮らしていくということが感じられ、心が温まった。

感想④：プロジェクターや電子黒板を使った授業で、子どもたちが楽しんでいる様子を見て、落ち着いてやれていて良かった。日頃の先生方の指導のおかげと感謝している。

感想⑤：去年から入ったICTを活用されていて感動した。

感想⑥：音楽を楽しそうに取り組んでいる姿に、学校は子どもたちの居場所として大事なところだなと感じた。高3など、コロナ禍で実習に行けないのかなと思うが、校内で工夫しながら子どもたちに自信をつけてやれている。掃除は外でも難しいが、わかりやすく示されている。

〇＜報告、その他について質問・意見等＞

Q：教科書は学校で毎年検討されているのか？

A：選定のPTを立ち上げ、教育委員会からの資料や校内で作られたシラバスに沿って選定する。教育委員会単位で採択するものである。

Q：学校見学会を複数回設定していただいたが、入学相談としてはどれくらい来られたのか。

A：小学部が約50、中学部は約80、高等部36

Q：授業アンケート結果は概ね良いが、自由記述で特徴的な意見があれば。

A：「感動した。」「頑張っている姿を見られた。」や日頃の教員をねぎらうものが多かったが、大きな集団での発表なので「課題が若干合っていないかった。」もあった。3学期には、もう少し小さい集団で子どもに合ったものと思う。

Q：その中で、コロナ対策についての評価はあったのか？

A：「コロナ禍のなかで、このような行事をしてもらえてうれしかった。」「座席も広くて良かった。」など

意見①：地域の作業所も喫茶のクッキーが作れずに、ポーチやティッシュ入れなどに代わっている。地域もコロナ対策が大変であると思う。

意見②：キャリアサポートプログラムの取り組みでは、いろいろな作品を作られて、多様な生徒にうまく対応させておられると思う。教科書は、実態を把握し合わせる必要がある。中学部の社会の授業では、絵から気づくことを書く課題で、少し経ってから「書くのが難しい人は絵に丸をつけてもいい」と指示され、時間差での配慮をうまくされていた。かたや、若い教員の力量を高めていくのに苦労されていると思う。

A：実態把握は、校内共通のチェックリストを活用している。児童生徒の見立てや観点の共有化を図っている。また授業をアーカイブ化し、ICTの活用方法、ことばかけや教材のいろいろを校内のLANに上げている。動画が重いので、工夫している。

意見③：文書で残していくのも良いと思う。地域で認められているということも、成果と思ってほしい。

〇准校長あいさつ

〇閉会